

海南島で日本語ボランティア 国際交流と中国語研修付きプログラム



中国文化とリゾートが一度に体験できるユニークな島、それが海南島です。

海南島は中国の最南端、北側は広東省と接し、西はベトナム、東は台湾、南はフィリピンと向かい合っています。海南島は台湾に次いで中国で2番目に大きな島です。日本からも直行便（季節便、関空から）や香港、広州などで乗り継いで気軽に行ける距離にあります。

自然と気候に恵まれたこの島では豊富なフルーツ、花、野菜などが島中にあふれ、また、海産物も豊富にとれる場所です。

島全体の雰囲気も中国本土とは違い、南国ムード満点です。自然と気候に恵まれたこの島では豊富なフルーツ、花、野菜などが島中にあふれ、また、海産物も豊富にとれる場所です。

人々はのんびりとして、優しく、昔からここ独自の文化を培ってきました。

海南島は中国の最南端、北側は広東省と接し、西はベトナム、東は台湾、南はフィリピンと向かい合っています。海南島は台湾に次いで中国で2番目に大きな島です。

中国の特区に指定され、リゾートなどの開発が行なわれ、外国からの観光客などにもきていただきたいのでしょう。2006年に海南島に訪れた日本人は年間約20,000人でした。

尚、1位は韓国人、2位はロシア人で、日本人は3位です。

この海南島でユニークな滞在方法、それが、日本語ボランティア活動です。

プログラムの催行場所

（チョンハイ）/Qionghai がプログラムの開催地になります。簡体字で書くとチョンは左が王、右が京からなる字なのですが当用漢字にはありません。繁体字では瓊と書いていたので、ここでは便宜上、この漢字を利用します。ハイは海です。だから瓊海市です。

瓊海市は海南島の東岸、万泉河の河口に位置する人口 45 万人の都市です。東線高速公路が整備され省都海口市から 1 時間程度の距離にあります。人口の半分以上が農業に従事し、退役軍人を中心に全中国から漢民族が市内の農場へ移住したことから人口の 98%前後を漢民族が占めています。そのほかにも苗族、壮族、黎族などの少数民族が住んでいます。

主な産業は漁業と農業。その他、南シナ海に面した砂浜の海岸、万泉河の河口の砂丘や上流の人工湖、奇岩がそそり立つ山々（白石嶺風景区）の美しさ、観塘温泉などの温泉で知られ、観光地・リゾートとしての開発を積極的に進めています。

受入先の外語学院

日本語ボランティアはチョンハイ市（瓊海市）の瓊海孔子学院を拠点として地域の日本語を学ぶ人たちに学習の機会を提供しています。

プログラムの概要

月から金曜日までの活動、週末は、活動はありません。

午前中は有資格者による中国語の研修（45分）

午後や、夜間に日本語教師アシスタントとして、日本語を学ぶ現地の人達（生徒、学生、一般人）に日本語を教えます。瓊海孔子学校の学内での活動もあれば、チョンハイ市（瓊海市）の専門学校やホテルに出向き、そこで教えることもあります。特に外の学校で教えるときなどは中国語の研修と日本語ボランティアの時間の調整は現地コーディネーターと確認しながら決めていきます。

終日 オプショナルの旅行

- ①文昌地区、孔子廟、高龍湾、東郊椰子林
- ②三亜地区、三亜湾大東海、鹿回頭公園、
- ③チョンハイ地区、温泉、ボアオ海浜、児童学園
- ④海口地区、西海岸、万緑園、市内観光

これは、参加者の方が希望した場合、王先生がアレンジしてくれるものです。料金は現地でお支払ください。



三亜のリゾート地区、中華料理のレストランなども楽しみ！



文昌の街の散策も異文化体験として面白いです。

プログラム参加の為の費用に関して

CEC 手配費用 一律 45,000 円

これに、1 週間ごとのプログラム費用として下記の費用がかかります。

1 週間の場合 30,000 円

2 週間の場合 50,000 円

3 週間の場合 70,000 円

4 週間の場合 90,000 円

2 週間を越える滞在の場合にはビザが必要です。この場合には旅行会社で滞在ビザ（6 ヶ月まで）を取る事ができます。

プログラム 費用に含まれるもの

- 滞在費用
- 中国語研修費用（少人数制で1週間に4-5回）
- 日本語ボランティア派遣のアレンジ
- 現地でのサポート

その他にかかるもの

- 海南島までの往復航空券（提携先の旅行会社が手配いたします。個人でも可能です）
- 海外旅行傷害保険
- 現地での食事代金（1日500円程度を予算にしておいてください。）
- 往復の送迎（高速鉄道を利用すれば、空港からチョンハイまで700円程度です。）

■ 滞在場所

チョンハイの学校の寮に滞在します。1 人部屋、または 2 人部屋です。そのときの使用状況に応じてどちらの部屋に滞在するか決められます。ご了承ください。

■ 活動先

皆さんが日本語をボランティアとして教える場所、それはチョンハイ市にある瓊海孔子学院での日本語ボランティアとなります。また、同じチョンハイ市にある専門学校やホテルでの活動もあります。

プログラム活動写真集



日本語を教える日本人の先生

みなさんで一緒に小旅行に行きました



皆さんで一緒にご馳走をいただきました。



中国語の授業は少人数制ですが、参加者がそれほど多くないので、よくマンツーマンになることもあります。その分だけ緊張もしますが、効率もいいのです。
右は専門学校で、中国人の学生さんに囲まれての日本語ボランティア。



日本語ボランティアの風景です 専門学校で



参加者の方と、専門学校の学生さんたち

参加者レポート その1

2 週間大変お世話になりました。中国語を学ぶには、とても短い期間ではありましたが、中国という国の姿を垣間見ることができて、得たものは大きかったです。
何から何まで、本当にありがとうございました。

では以下に感想を書きたいと思います。

私はこちらにくるまで、今年が日中青年友好交流年だということを知りませんでした。しかし、こうした特別な年に来られたことを大変嬉しく思っています。

中国の学生や先生方との交流を通じて多くのことを感じました。

様々な授業や日本語クラブなど「日本語を学ぶ」ということを色々な視点から見ることができ、良い経験となりました。その中で、自分にできる日本語ボランティアとしての役割は何かについて考えました。王先生の仰ったような教え方、伝え方ができたかどうかはわかりませんが、少しでもお役に立てたなら幸いです。

日本語ボランティアとして、どう日本語を通じて交流ができれば、一番発展的なのか、事前にもっと考えてくるべきだったと後悔した部分もありました。教え方、伝え方がむずかしかったです。日本語を学習する人にとって、どういう点が難解で分かり難いのか、私自身がよく認識できていなかったからです。日本語を毎日使う中で、そうした点を改めて見つけることはなかなか難しかったです。

一生懸命に、朝から晩まで勉強する生徒達の姿を見て、自分の日々の姿勢を見直すきっかけともなりました。日本はある意味で選択肢が多すぎて、あまえてしまっているように感じます。少なくとも私は時間の使い方や捉え方に対し、本気ではなかったと思います。生徒たちとの交流を通じて、今後の自分のありかたについても考えさせられました。

日本に帰ってからも、中国語学習は続けていきたいと思います。日本の中国語検定 3 級までは取得したいです。来年は大学院に留学する予定ですが、こうした交流を世界中で続けていき、自分の夢を実現させていきたいと思っています。社会に出てからも、こうした目標は見失わないよう生きていきたいです。

王先生のされているお仕事はすばらしいものだと思います。こうした交流の積み重ねは、いつか中日間だけでなく、世界に大きな変化をもたらすことと信じています。「我和 ni」(ni は漢字が見つかりませんでした..) の歌は、今と未来をつなぐ架け橋の希望だと思います。

我每天都很忙、但我很充实 (O は hen です..) の毎日をおくり、ちゃんとした仕事に就けるように皆さんのように努力していきたいと思っています!!

ここに来るまでは、正直なところ、すごく不安でした。言葉もわからない、文化に馴染めるのか、中国の人と実際にうまくやっていけるのかなど、テレビやニュース、勝手なイメージによって心配していた点がいくつもありました。

しかし、中国の方々と一緒に旅をした三亜旅行、ルームメイトのチンフンと過ごした日々の生活、多くの生徒たち・そして竹澤さん、竹村さんとの交流などによって、言葉も何もわからないこの土地での生活を楽しめた源となりました。そして、何より王先生、王先生の奥様、チェン先生、中国人生徒さんたちの助けがあったからです。

私の中で中国という国に対するイメージが大きく変わるきっかけとなりました。中日関係は、こうした交流・経験の積み重ねにかかっていると思いました。より深く、そしてより強固な絆で結ばれる関係を築けるよう、私なりに行動を続けていきたいです。

またどこかでお会いできることを心から楽しみにしております。

是非、日本にいらっしゃる際には、ご連絡お待ちしております。娘さんにもお会いしたいです!!
本当に2週間どうもありがとうございました。

参加者レポート その2

この方は8月の夏休み期間に参加されました。文昌の学院は休みでしたので、チョンハイの分校で日本語を勉強する人たちとの交流をおこないました。

2週間お世話になりました。

①中国語の学習について

大学で一年半やっていたので教材の文法は理解できた。でも、一对一の授業なので質問したらわかるまで先に進めないし、すべてが中国語だったので、集中力との戦いだった。かなり聞き取りが鍛えられたと思う。会話をしながら進んでいく授業だったので、大学の授業とは全然違って面白かったし、短い時間でも少し成果はあったかなーと思う。とにかく単語不足をすごく痛感したんだけど、それはレッスンではどうにもならないので日本でもっとたくさん覚えてくれば良かったなーと思った。

②日本語を教えた感想

片言の中国語で教えたので、聞かれた質問に対してうまく答えられなかった気がしてとても残念だった。でもみんな日本語の日常的な挨拶にとっても興味をもってくれて嬉しかった。発音をローマ字で教えたら、ノートに一生懸命書き取って一緒に何度も繰り返して練習してくれた。ただ、中国語のピンインと私の伝えたいローマ字の発音が少し一致なくて混乱させてしまったかもしれない。深いことは全く触れていないけど、みんな楽しそうにしてくれていたのが良かったと思う。

③中国人との交流について

短い期間だったのに、本当にたくさんの中国人と会う機会を作ってもらった。私が出会った中国人はみんなフレンドリーで親切で、本当にいい人ばかりだった。みんなゆっくりわかりやすく話そうとしてくれたし、たくさん気を使ってもらった。いろいろなところを案内してもらったり、一緒にご飯を食べたりした。特に同世代の女の子とはとって仲良くなれて、国は違っても分かり合える感覚が嬉しかった。はじめは日本語を教えたり、中国語を教えてもらったりして仲良くなって、最後のほうはプライベートな話もできたりしてとても楽しかった。片言の中国語だったけど、ギリギリ通じることもあるとわかって良かったです。



王先生(コーディネーター)

海南島 日本語ボランティア 体験記 國廣 貴彦

私は、2週間チョンハイ市で日本語ボランティアとして滞在しました。私の中国語のスキルは、大学で少しやっていて文法を知っている程度で、英語も特別出来るわけでもなかったのですが、行くまではとても不安でした。しかし、何名かの先生も学校の寮で暮らしているのですが、買い物や散策に連れて行ってくれたり、日常的に親密にコミュニケーションをとってくれたので、慣れない中国での生活もホームシックになることなく、楽しく充実した毎日を過ごすことができました。

活動は日本語を教えること。月曜日から金曜日の19時～21時まで授業があります。学生は15名程度でした。1人日本語が上手な青年がいましたが、多くはまだ日本語習い始めて3週間という学生ばかりです。私は2週間で「助詞」「形容詞」「形容動詞」を教えました。授業の合間に日本に興味を持ってもらうために富士山や日本の都市など、日本の話をよくしていました。もちろん、ほぼ中国語で教え伝えなくてはいけないので、当初準備には苦労しましたが、その環境の中でなんとか自分の言いたいことを伝えたい、分かってもらいたいと、私自身も一生懸命中国語の語法や単語を調べては授業で使うという繰り返しで、とても勉強になりました。

現地での生活サイクルは、午前9時からだいたい2時間、王先生に中国語を教わっていました。

その内容は主に授業の準備で、日本文を中国語訳したり、新出単語の中国語訳の発音練習をしたりしました。また、私は途中から中国語で日記を書くように言われていたので、その内容を添削してもらったりもしました。午後は、辞書を引いたり発音練習したり具体的に授業を組み立てる時間に使ったり、時間に余裕があるときは昼食を食べに行き、そのまま市内を散歩したり、買い物したりしました。そして、授業前 18 時ごろ夜ご飯を食べに行き、19 時から 21 時まで授業をします。食事は多くの店が一品 5~8 元(日本円で 100 円前後)で安いです。私は授業後、毎回多くの学生が住む寮まで散歩を兼ね、片道約 40 分一緒に歩いていました。私にとってその時間は、現地の学生とゆっくり会話できるので有意義な時間でした。ゆっくり話しながら歩き、その後話し込むこともあり、自分の寮に戻ってくるのが日付を越えることも多々ありました。しかし、チョンハイはとても治安がいいので、夜一人で歩いていても危険を感じるということもなく、泊っていた寮も大通り沿いなので心配ありませんでした。寮に帰ると、シャワーを浴び、日記を書いて寝るという感じです。

土日は授業もないので、一人で長距離バスに乗り、海口市や三亜市に行きました。不安ですが、良い経験です。海口では現地の大学で日本語を教えている日本人の先生にお会いし、彼の学生と博物館や買い物に行ったり、先生の家で料理をごちそうになったり一日交流しました。三亜では、初日はゆっくり海辺を散策したり夜景を楽しんだりし、翌日は中国語を学びにチョンハイの学校に来た日本人の方と合流し、現地の旅行会社のツアーに参加して、観光地を巡ってきました。最終日には学生たちの大学のクラス会に招かれ、ダンスや歌を見させてもらいました。私も日本の歌を歌いましたが。大学生の雰囲気は日本と一緒にです。

私は今回、勇気を出してこのプログラムに参加して、心の底から良かったと思っています。それは中国を直に感じ、中国語の学欲が湧くのはもちろん、多くの人と接するなかで、世界や人間のことなど、本当に多くのことを感じ取って帰国することができたからです。滞在中支えてくださった先生方、学生みんな、本当にありがとうございました。

空港からチョンハイまで 1 時間かかりますから、お手洗いは空港で済ませたほうがよいでしょう。また、中国のお金も交換ください。もし到着が夜で空港の両替所が開いてなければ翌日に現地の銀行で交換ください。翌日の時間を王先生に聞いてください。

プログラムに参加する際の心構え

南国の島なので、どうしても予定どおりにいかない、その「ゆるさ」を楽しんでいただきたいと思います。突然、予定が変わったり、はいったりすることがあります。王先生をはじめ現地の人は、ゆったりしていますから、”郷に入らば郷に従え”で、その日その日の予定で行く、柔軟な気持ちでご参加ください。日本人のライフスタイル(分単位で正確な生活の流れ)で考えると「ついていけない」こと

になります！

中国語授業に関して

午前中 45 分程度あります。日本語ボランティアの際の方法などを題材として中国語を教えていただいているということです。日本語ボランティアに関して、少しでも自信を付けていただけるように配慮して、中国語のレッスンを行っているとのことでした。

寮の室内の設備に関して

コーディネーター王先生の運営する語学スクールの階上にある部屋を寮として使っています。ちょうど日本のマンションのような造りです。滞在に必要な設備はそろっています。

1 人部屋、2 人部屋などがあります。洗濯機・トイレ(洋式、和式あり)・シャワー、流し台は、共有です。

ネットワークケーブル各部屋に通線ありますので、ご自身のノートブックを持っていけば自由にインターネットをすることができます。ただし、日本とくらべて非常に遅いので、大きなサイズの写真などを送受信するのは難しいかもしれません。

食事は、外語学院の外のレストランなどを利用します。1 日 500 円程度ですみませんが、もちろんもっと料金をだして良いレストランで食事することもできます。

コンセントの形状 写真をご覧ください。



なかなか複雑な形をしたコンセントの形状です。これが結構どこに行ってもついています。私(担当の池頭)が出張した際のホテルでは上の方に日本のプラグを差し込むと通電しました。しかし、通常は下のハの字の逆の形をした形状のプラグが一般的に通電するようなのでそれに合った形状のプラグをご用意ください。王先生にお聞きしたら、なかったら貸してあげるとのことでした。(無い場合もあるのでご自身で用意することを優先してください)

虫対策をおねがいします

南の島なので、虫類が年中います。蚊取りペープ、虫刺され防止スプレーなどをご用意ください。

ゆっくりと過ごせる場所なので、いままで読みたくても読めなかった本を持ってきたり、絵を描いたりするのも良いでしょう。日本の都会のようにせかせかしていないので、それに合わせた滞在を心に決めて参加しましょう。